

TAKEUCHI

**2015年2月期第2四半期
決算説明資料**

2014年10月21日

「世界初から世界の**TAKEUCHI**へ」

株式会社 竹内製作所

証券コード:6432

- ▶ **I. 15年2月期 第2四半期 決算概要**
- ▶ **II. 15年2月期 見通し**
- ▶ **III. 市場見通し**
- ▶ **IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み**

▶▶ ポイント

(1) 需要は米国の好調に加え、欧州が回復

- 米国の販売台数は20.4%増加(対前年同期比)
- 欧州は回復し、販売台数は45.0%増加(対前年同期比)
- 連結売上高は34.5%増収(対前年同期比)
- 想定以上に欧州地域の販売が好調に推移

(2) 数量効果と円安効果、コスト削減で営業利益率が改善

- 数量効果と円安効果及びコスト削減で粗利益率は9.3ポイント向上
- 物流費削減などで販管費比率は0.4ポイント改善
- 営業利益は240.7%増益

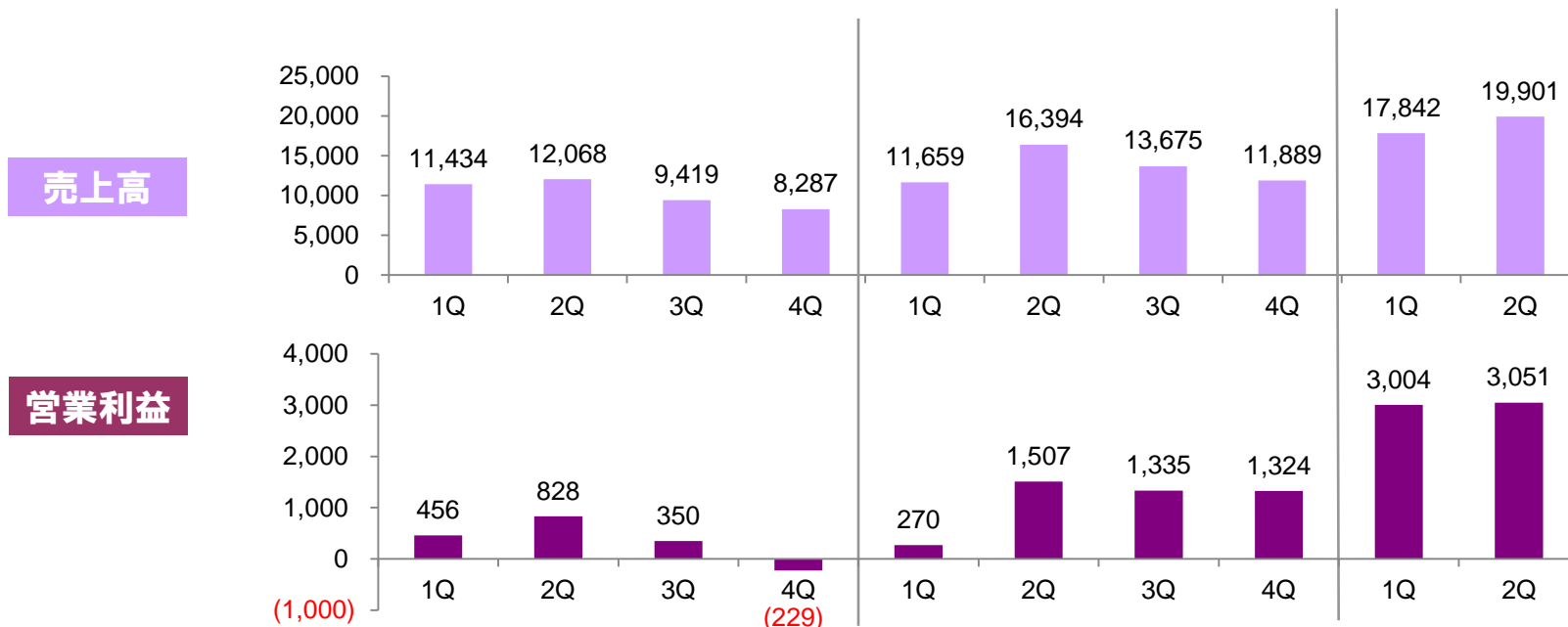
▶▶ 連結実績

単位:百万円

	15/2上期 実績	14/2上期 実績	前年同期比 伸び率	15/2上期 期初予想	対期初予想 増減額
売上高	37,743	28,053	+34.5%	35,200	+2,543
営業利益	6,055	1,777	+240.7%	3,900	+2,155
経常利益	5,965	3,016	+97.7%	3,640	+2,325
当期利益	3,640	2,424	+50.2%	2,200	+1,440
設備投資額	498	97	+413.4%		
減価償却費	422	363	+16.3%		
受注高	38,663	33,133	+16.7%		
受注残高	14,944	13,915	+7.4%		

▶▶ 四半期毎の売上高・営業利益推移

単位：百万円、%



	2013年2月期				2014年2月期				2015年2月期	
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
円/米ドル	81.34	78.86	78.64	86.36	94.51	99.37	98.21	103.27	102.47	101.97
円/英ポンド	129.97	122.64	125.56	137.98	145.34	151.64	156.80	170.00	171.43	171.88
円/ユーロ	108.56	97.42	100.75	118.33	123.08	130.47	132.25	141.04	141.13	138.29
円/人民元	12.66	12.65	12.32	13.30	14.90	16.15	16.02	16.80	16.78	16.33

▶▶ 地域別売上高

単位:百万円

	15/2		14/2		前年比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
日 本	930	2.4%	1,508	5.3%	▲578
北 米	16,438	43.5%	12,440	44.3%	+3,998
欧 州	18,221	48.2%	11,415	40.6%	+6,806
ア ジ ア	1,165	3.0%	1,730	6.1%	▲565
そ の 他	987	2.6%	958	3.4%	+29
売 上 高	37,743	100.0%	28,053	100.0%	+9,690
海 外 売 上 高	36,812	97.5%	26,545	94.6%	+10,267

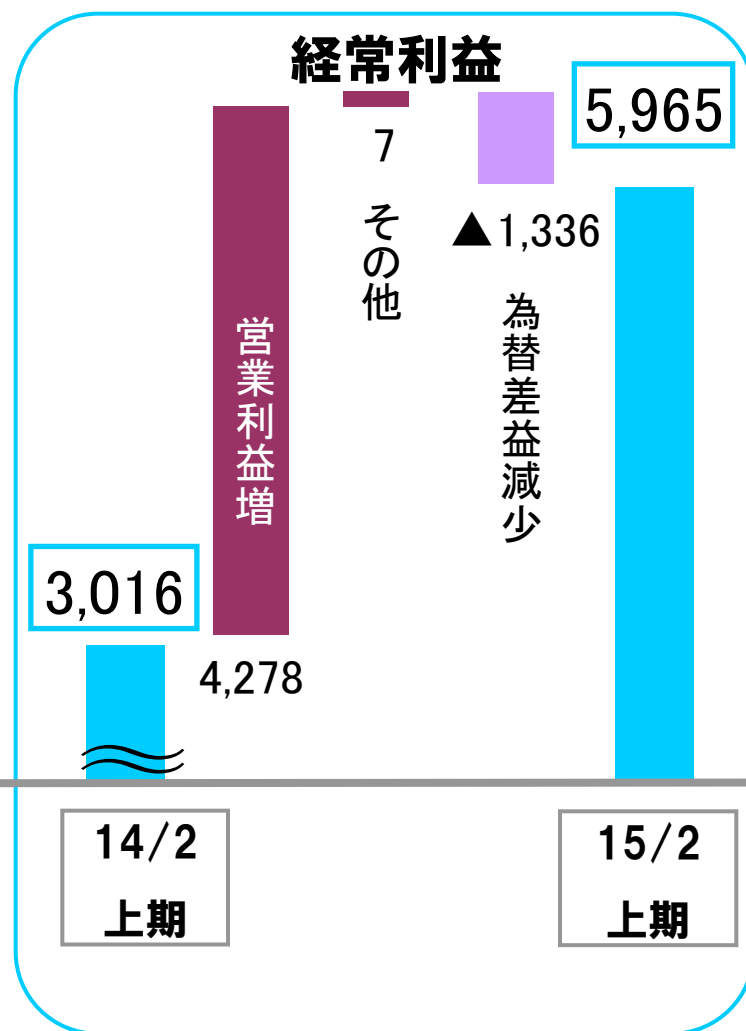
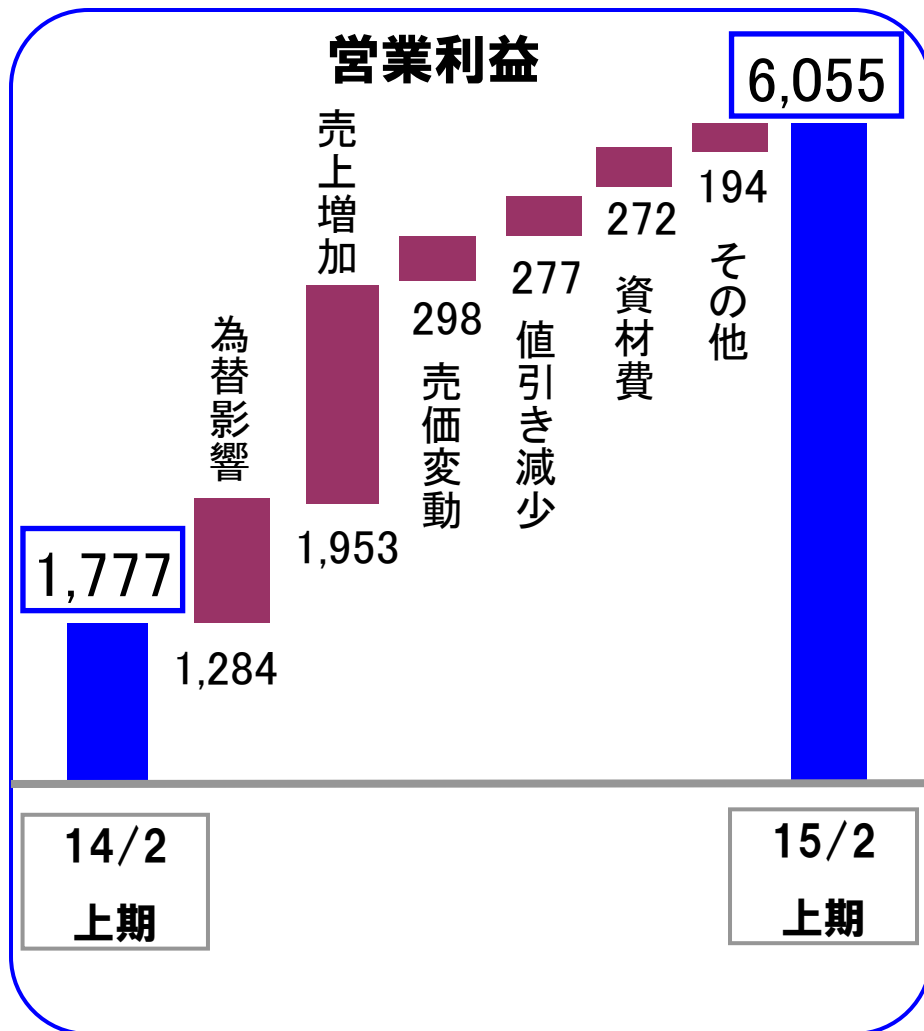
▶▶ 所在地別セグメント情報

単位:百万円

		15/2 上期	14/2上期	前年比 増減額
日 本	売 上 高	13,329	9,533	+3,796
	セグメント利益	5,110	2,026	+3,084
米 国	売 上 高	16,468	12,459	+4,009
	セグメント利益	996	128	+868
英 国	売 上 高	5,225	2,872	+2,353
	セグメント利益	316	94	+222
フランス	売 上 高	1,572	1,468	+104
	セグメント利益	86	▲2	+88
中 国	売 上 高	1,148	1,719	▲571
	セグメント利益	▲154	61	▲215

▶▶ 連結損益増減要因

単位:百万円



▶▶ 連結貸借対照表

単位:百万円

	14/8月末	構成比	14/2月末	構成比	増減額
流動資産	51,333	86.7%	44,574	84.9%	+6,759
現金及び預金	9,581		9,734		▲153
受取手形及び売掛金	25,159		17,872		+7,287
たな卸資産	14,452		15,246		▲794
固定資産	7,883	13.3%	7,898	15.1%	▲14
資産合計	59,217	100.0%	52,472	100.0%	+6,745
流動負債	18,620	31.4%	14,874	28.3%	+3,745
支払手形及び買掛金	14,152		10,317		+3,834
短期借入金(1年内長期含む)	-		300		▲300
固定負債	713	1.2%	665	1.3%	+47
負債合計	19,333	32.6%	15,540	29.6%	+3,793
純資産合計	39,883	67.4%	36,931	70.4%	+2,951
負債純資産合計	59,217	100.0%	52,472	100.0%	+6,745

▶▶ 連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	15/2上期	14/2上期
営業キャッシュフロー	1,345	3,914
投資キャッシュフロー	▲605	▲368
財務キャッシュフロー	▲567	▲890
現金及び同等物に係る換算差額	▲322	▲531
現金及び同等物の増減額	▲150	+2,124
現金及び同等物の期末残高	8,988	5,412

▶▶ 業績見通しのポイント

(1) 需要動向

- 米国市場は、住宅投資の改善続き、需要増加を予想
- 欧州市場は、地域間の格差はあるものの新製品の投入及び販売網の強化等により、需要は増加を予想
- 新興国市場は一部地域で増加するものの、概ね横ばい

(2) 販売台数の見通し

- 販売台数見通しを7.4%増を17.8%増加に見直す

(3) 利益見通し

- 販売台数増加、円安、コスト削減浸透で粗利益率は5.5ポイント向上(対前年比)
- 営業利益は、117.3%増益の予想(対前年比)

II. 15年2月期の見通しについて

▶▶ 地域別売上高予想

単位:百万円

	15/2期						14/2期	
	上期実績	下期予想	通期予想	構成比	前年比 増減額	従来予想	実績	構成比
日 本	930	610	1,541	2.3%	▲1,099	1,430	2,640	4.9%
北 米	16,438	13,510	29,949	44.7%	+6,810	24,734	23,139	43.2%
欧 州	18,221	13,804	32,026	47.8%	+8,417	29,383	23,609	44.0%
ア ジ ア	1,165	576	1,742	2.6%	▲844	2,444	2,586	4.8%
そ の 他	987	754	1,742	2.6%	+101	1,609	1,641	3.1%
売 上 高	37,743	29,256	67,000	100.0%	+13,383	59,600	53,617	100.0%

II. 15年2月期の見通しについて

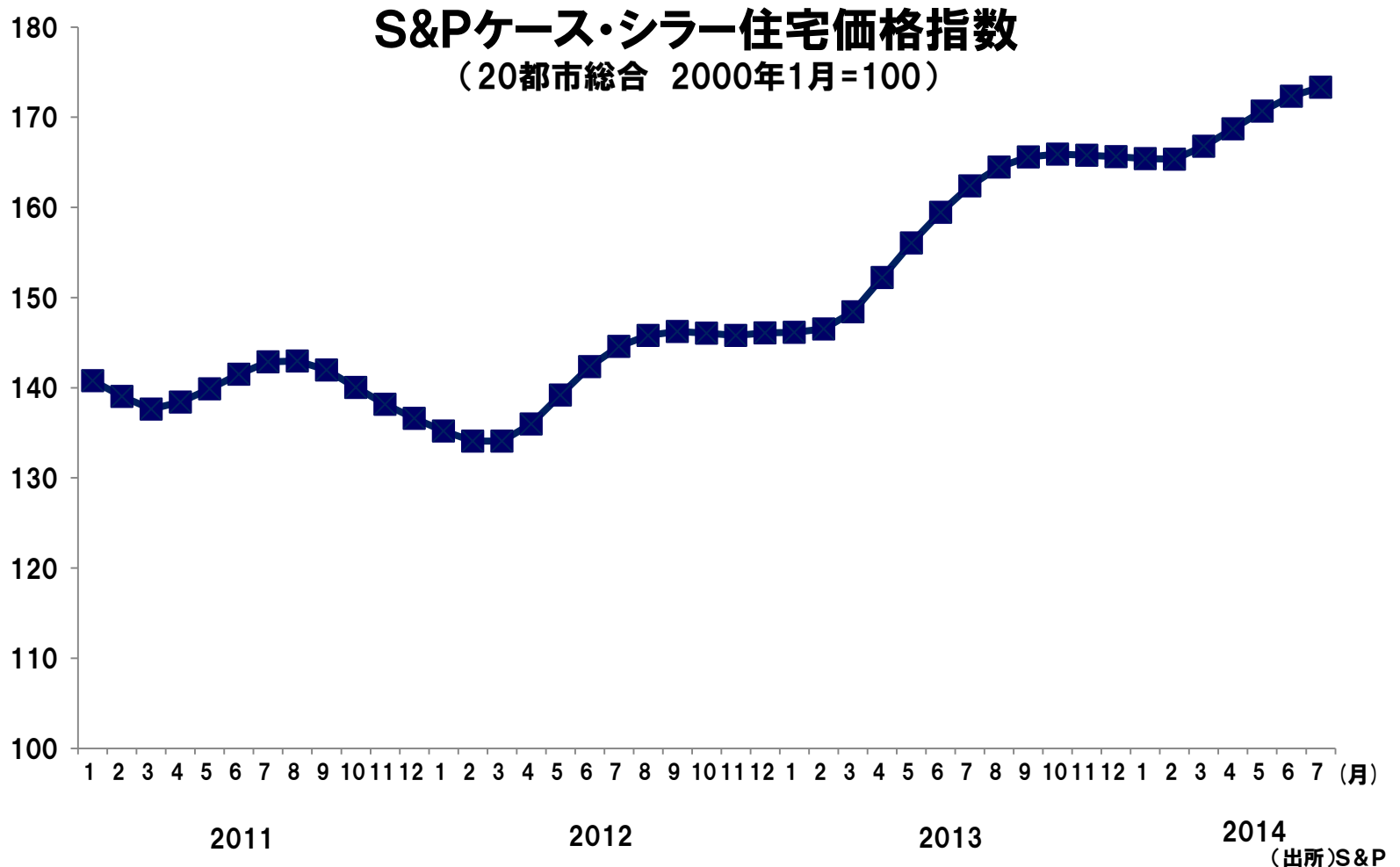
▶▶ 連結業績

単位：百万円

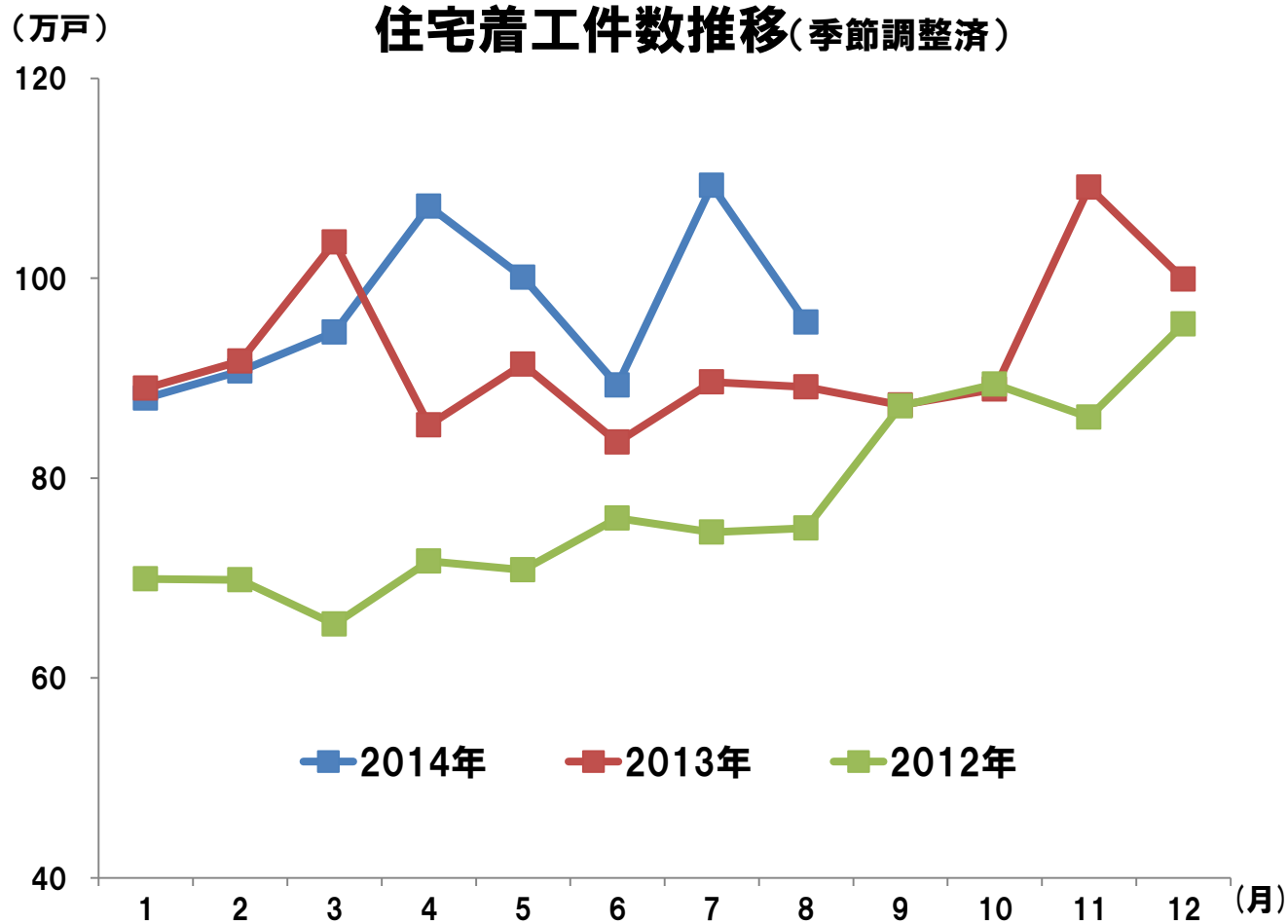
	15/2期予想				14/2期
	通期予想	伸び率	従来予想	修正額	実績
売上高	67,000	+25.0%	59,600	+7,400	53,617
営業利益	9,640	+117.3%	6,000	+3,640	4,436
経常利益	9,640	+49.0%	5,750	+3,890	6,470
当期利益	5,910	+27.8%	3,500	+2,410	4,624
設備投資額	1,180	+268.8%	990	+190	320
減価償却費	1,062	+38.8%	980	+82	765

為替レート	従来 通期前提	上期実績	下期前提	14/2期実績
円／米ドル	98.00	102.23	104.00	99.23
円／英ポンド	160.00	171.67	172.00	157.29
円／ユーロ	135.00	139.61	135.00	131.02
円／人民元	16.10	16.56	16.80	15.97

▶▶ 現況:改善傾向続く米国の住宅投資環境

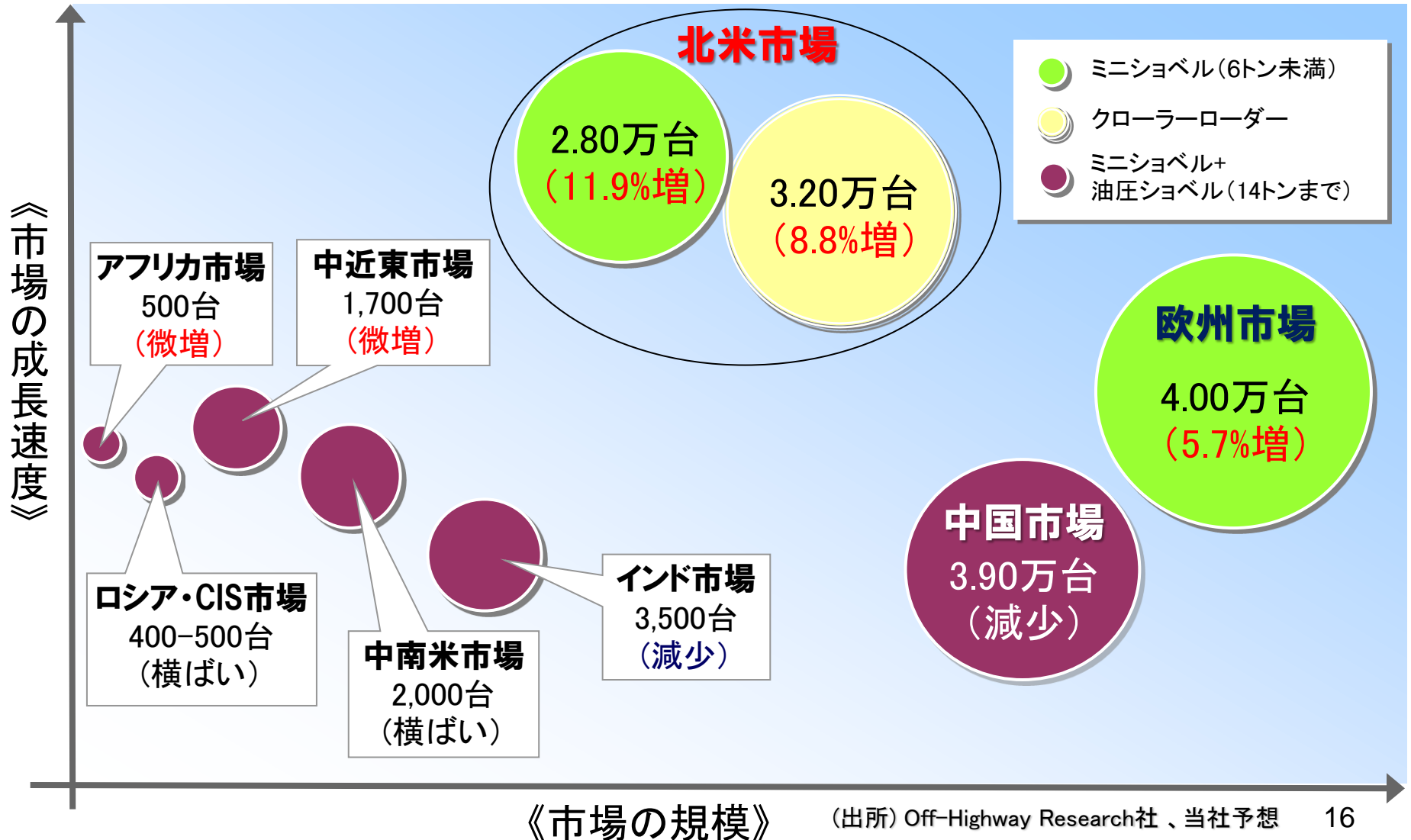


▶▶ 現況:回復する米国の住宅建設

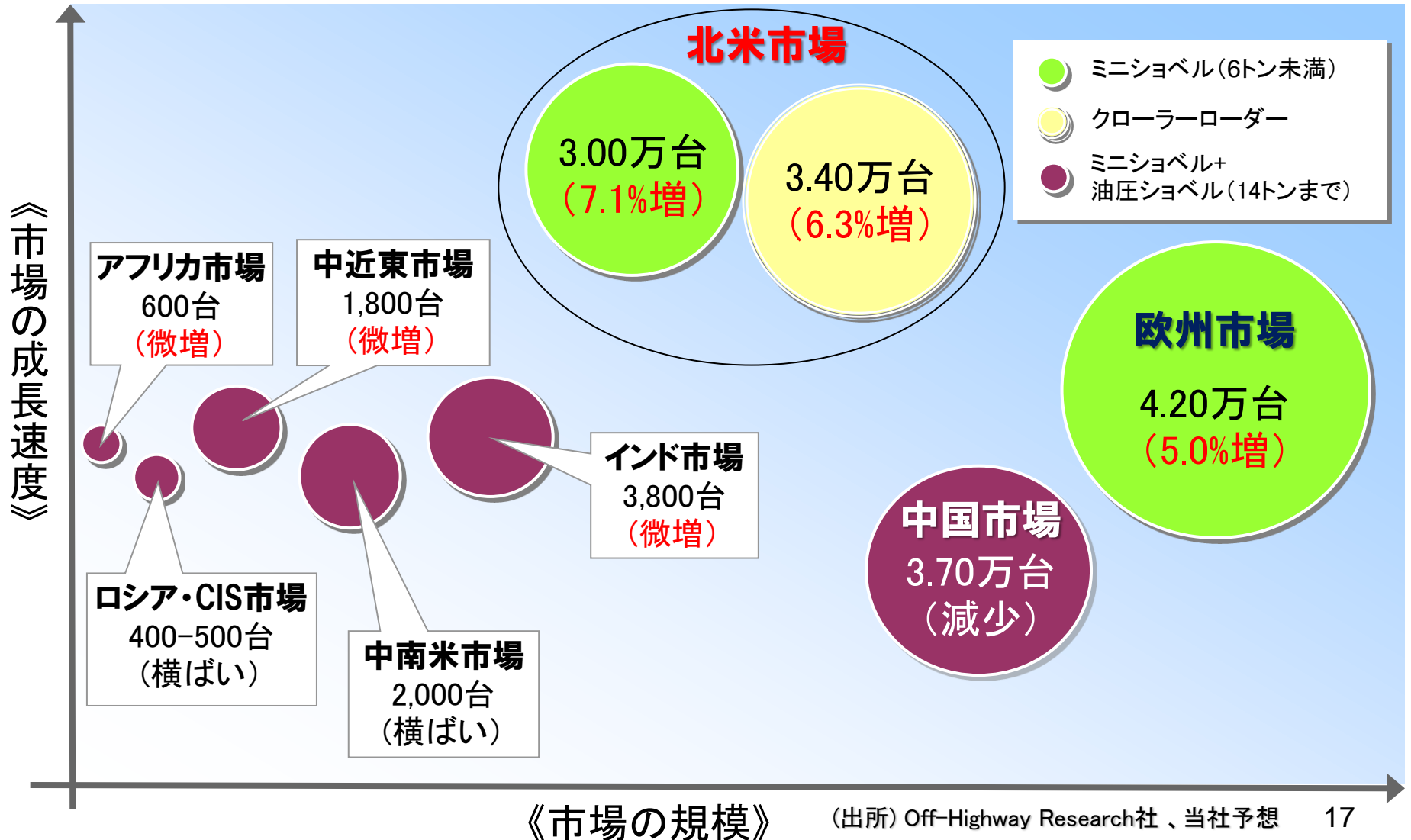


(出所)米国商務省

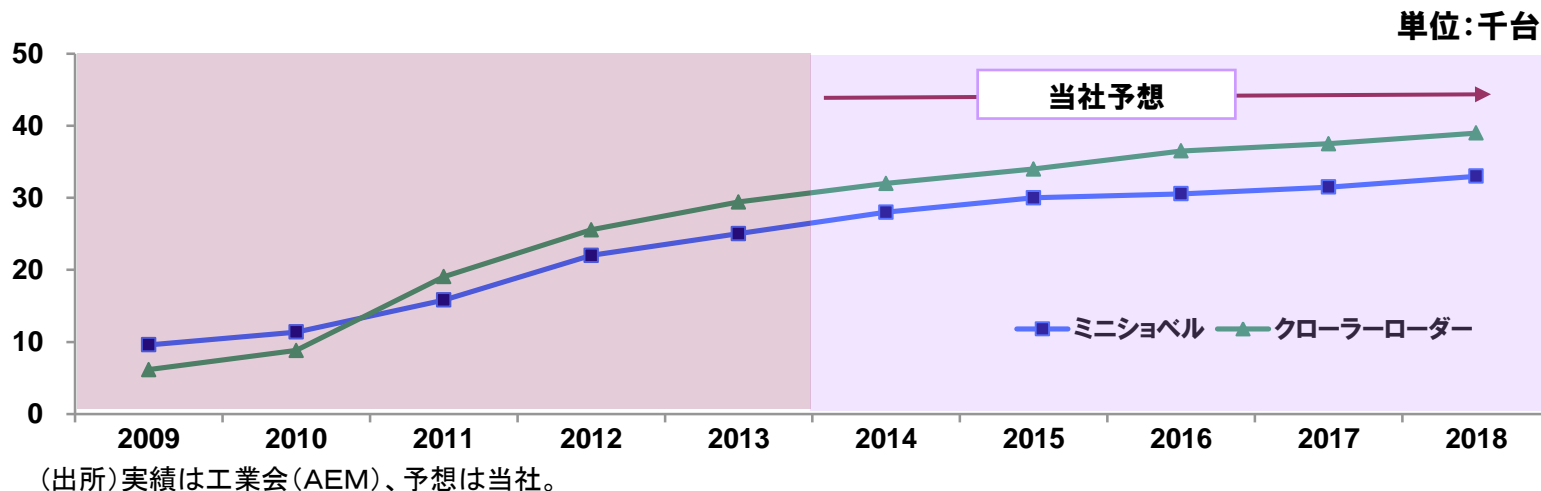
▶▶ 2014年の市場見通し概観 (カッコ内は前年比伸び率)



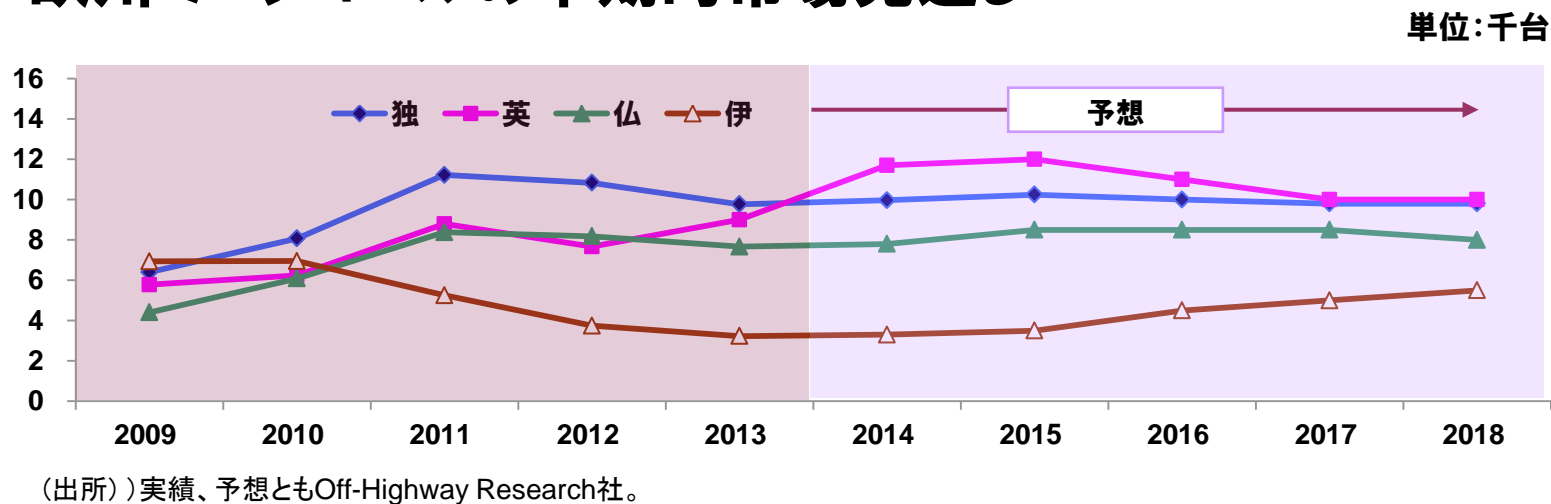
▶▶ 2015年の市場見通し概観 (カッコ内は前年比伸び率)



▶▶ 北米ミニショベル・クローラーローダーの中期市場見通し



▶▶ 欧州ミニショベルの中期市場見通し



▶▶ 中長期的な経営戦略

- 製品開発強化
- 新興国市場開拓
- 生産性向上
- 業務の標準化及びITの再構築

IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み

1. 開発戦略（製品開発の強化）

- 新機種の開発、モデルチェンジ
- 出力帯別規制に合わせた第4次排気ガス規制対応



新機種
TL8

2014/3
発売



新機種
TB230

2014/7
発売

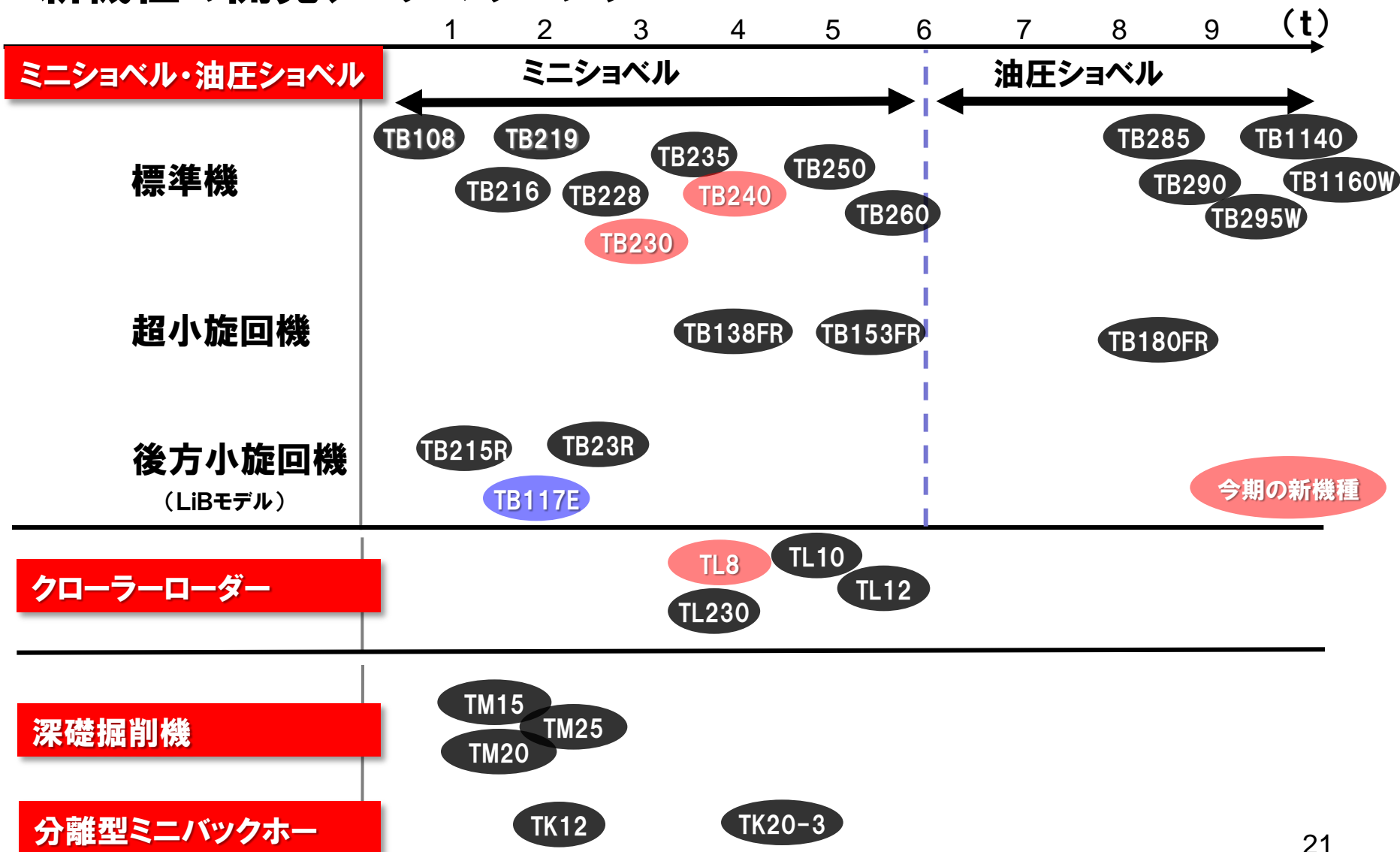


新機種
TB240

2014/8
発売

IV. 中長期的な経営戦略と重点取組

新機種の開発、モデルチェンジ



2. 販売戦略

(1) 先進国市場対応

- ・製品ラインアップの強化とディーラー網の拡充

(2) 新興国市場開拓

- ① 重点地域(東南アジア、中東、南米、アフリカ)
- ② 低コスト機の投入(中国現地生産機の最大活用)
- ③ サービストレーニングの強化

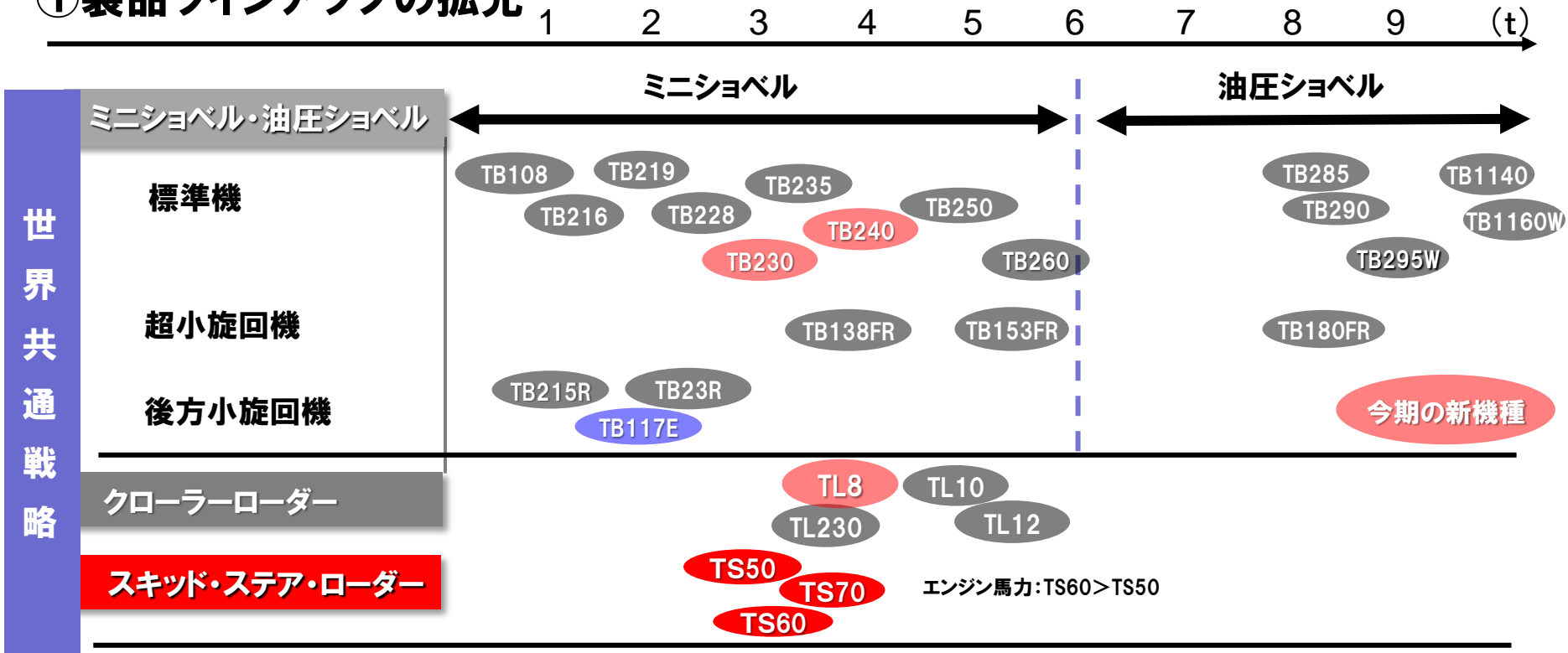
(3) 補修部品の販売強化

- ・第2純正部品の拡大など補修部品の販売強化

IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み

(1) 先進国販売戦略

① 製品ラインアップの拡充



② ディーラー網の拡充(米国)

- ・14/2期のディーラー数は10%増加(対前年比)
- ・14/2期のディーラーのロケーション数は14%増加(対前年比)
- ・14/2期以降、ディーラー数は5%増加、ロケーション数は7%増加

国内の累積生産台数

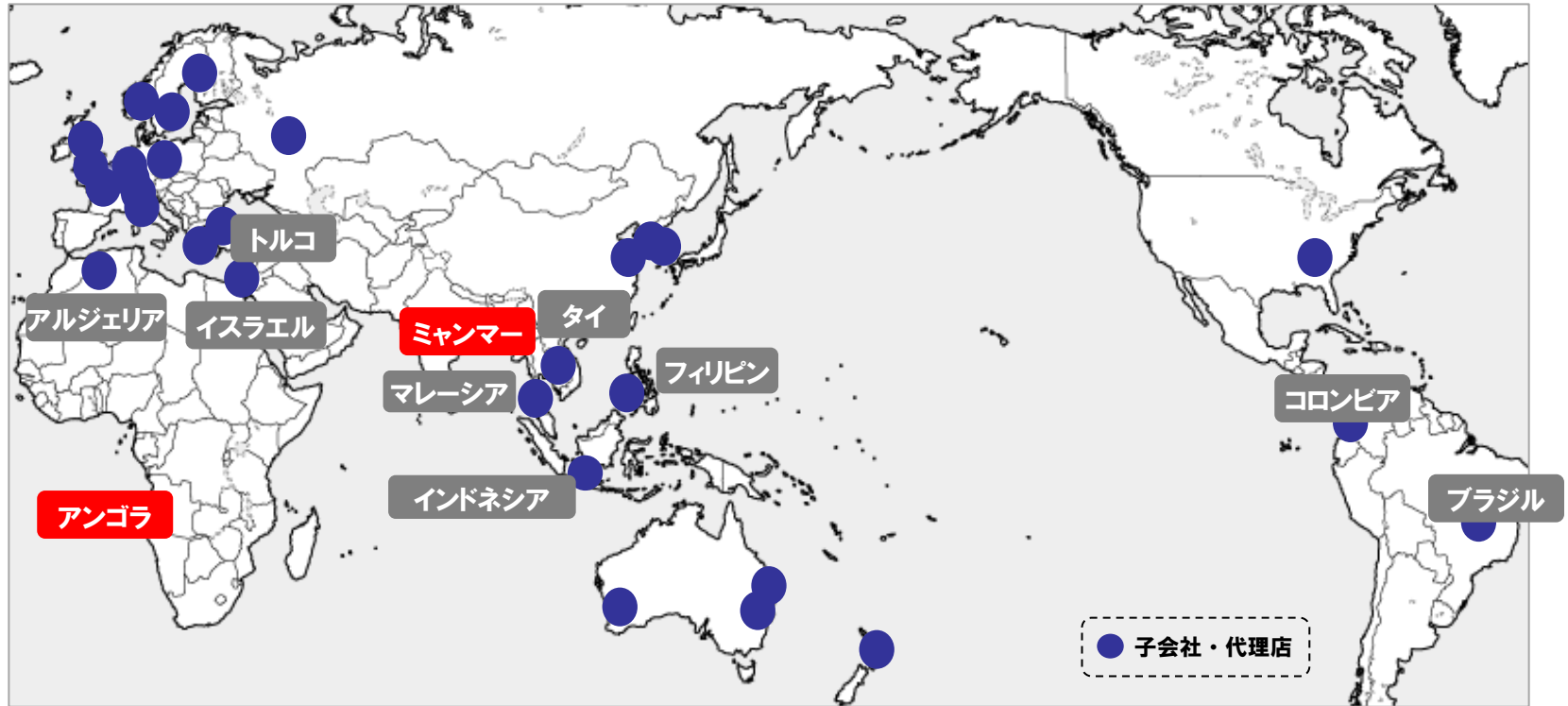
250,000台達成

(2014/4/17)



IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み **TAKEUCHI**

(2) 新興国の開拓状況



(3) 補修部品の販売強化策の成果

・部品売上高は、30.1%増加(対前年同期比)

IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み

3. 生産性向上

本社工場:加工設備導入、機械稼働率向上

戸倉工場:溶断能力向上、内作取込みによる付加価値増加



対向機(本社工場)



レーザー加工機(戸倉工場)

青島工場:本社工場への部品納入拠点として活用

製缶品5品種(12/2期)→26品種(14/8期)

物流費の削減

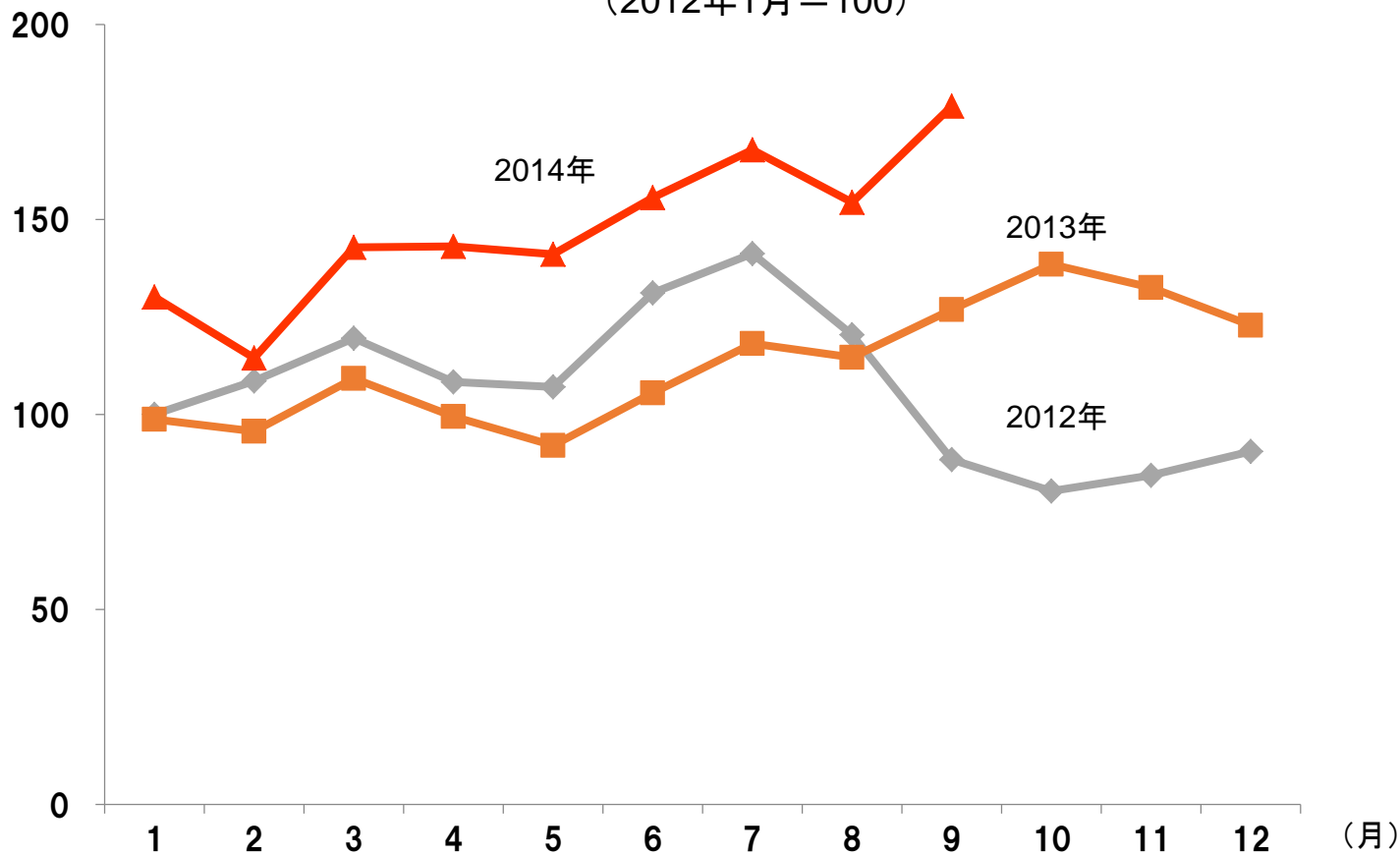
- コンテナ詰め社内対応
(2012/2期:21.3%→2014/8期:43.7%)

4. 業務変革

- 業務の標準化とIT化による効率向上

月別生産台数推移

(2012年1月=100)



お問い合わせ先

株式会社 竹内製作所
総務部(広報担当)

TEL:0268-81-1100

FAX:0268-81-1127

E-mail: ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。